

日本学校教育相談学会

THE JAPANESE ASSOCIATION OF SCHOOL COUNSELING AND GUIDANCE

栃木県支部会報 2022.03.31

NO.36

- 日本学校教育相談学会第34回総会・研究大会栃木大会最新情報
- 第38回支部研究発表会（中止）・第39回支部研究発表会（コメンテーター：築瀬のり子氏）
- とちぎ教育相談カフェ 第11回「インシデントプロセス法を学ぶ」・第12回「インシデントプロセス法を使う事例研究」
講師：栃木県ガイダンスカウンセラー会会長 布川裕美 氏
- カウンセリング特別講座Ⅱ「カウンセリング・学ぶこと・教えること」
講師：キャリアカウンセリング協会特別講師 橋本幸晴 氏
- 日本学校教育相談学会第32回中央研修会レポート
- 栃木県支部事務局からのお知らせ

○ 第34回総会・研究大会（栃木大会） / 第23回ワークショップを支部の力で成功させよう

栃木大会実行委員長 柴 一 彌

多くの児童生徒たちにも感染を広げた新型コロナ第6波がようやく収まりつつある中、そうは言っても油断できないのがこの新型コロナのしぶとさと厄介さです。2019年秋口に大陸から広がり足掛け4年に入ったパンデミックは地球規模の大惨事になったと言っても過言ではありません。

児童生徒に日夜関わる私たち全国の教育関係者は、この終わりが見えない状況下にあっても日々倦まず弛まず実践してきたコロナ禍の貴重な取り組みを残しました。

来たる8月6、7日の「ワークショップ」、「研究実践発表」ではこれまでの全国の実践から得られた知見の数々を学び、共有し、先の指針になるノウハウをきっと身につけることができます。

栃木県支部主管で行う全国大会は本学会34年の歴史の中で2回目（1回目は2002年第14回栃木大会）になります。昨年の兵庫大会に倣ったオンライン開催は今回で2度目です。

重ねてきた実行委員会では知恵を出し合い、次のような共通理解を得るに至りました。

- ① これまでの3日間開催を2日間に短縮し、コンパクトにする。
- ② オンデマンド方式を一部取り入れる。
- ③ 学会員に限らず広く宣伝広報活動をする（例：後援団体の連合教育会広報誌（13,000部発行）に開催案内を載せ、一斉メールシステムで県下の全学校に配信、オリジナルチラシを各種機関に置かせてもらうetc.）
- ④ 記念講演は教育関係者や学者でなく地元で熱心に人づくりや共助に励んでいる人を選ぶ。

記念講演講師 光琳寺住職 井上広法 氏 演題「息抜く力は、生き抜く力」

④に関しては連合教育会元会長新沼隆三先生の人脈をお借りし、TV番組「ぶっちゃけ寺」などのマスコミで露出度も高く、大学のダブルスクールでカウンセリングを学び、社会貢献している宇都宮在住の僧侶、「光琳寺井上広法（こうぼう）住職」と出会うことができました。

先日(3/12)その光琳寺を訪ねてきました。井上住職は「若者がすぐ死にたいという言葉が発するのがとても気になっています。『死にたい』は『生きたい』の裏返し言葉。8月31日に自ら命を落とす若者が多い現実にはたまれない気持ちになっています。大人はこの若者の本当の深い気持ちを理解しなければいけません」と熱く語るのです。演題については私たちと住職とのやり取りの中で、住職から「息抜く力は、生き抜く力」というフレーズをいただき、それをそのまま演題にしましょうと決めました。

余談ですが住職のお住まいにはいつでもオンラインで生配信できる放送機材一式がそろっている和室スタジオがあります。栃木大会記念講演はまさにこのスタジオからの生中継になります。当日はオンラインならではの工夫を凝らして講演をしたいとおっしゃっています。楽しみにしましょう。

ぜひ多くの人に参加していただけるよう支部会員の皆様の働きかけを切にお願いいたします。

*研究実践と自主シンポジウム企画申し込み 締め切り4月30日（土）

*大会抄録原稿 締め切り5月31日（火）

*参加申し込み期間は6月1日～7月15日の予定です。学会ホームページから申し込みできます。

○ カウンセリング特別講座Ⅱ「カウンセリング・学ぶこと・教えること」

講師：キャリアカウンセリング協会特別講師 橋本幸晴 氏

橋本先生のカウンセリングに対する真摯な姿勢、態度、そして、人間としての生き方を真剣に考えさせられてしまうお話だったように思う。前半はカウンセリングを学び始めたころの、師との出会い、同志との出会いについてのお話だった。特に小林純一先生（神父様）、下司昌一先生との出会いは運命的であり、橋本先生の人生を左右するほどの出会いだったのだと感じさせるお話であった。

後半は、カウンセラーとして先生が最も大切にしておられることについてのお話だったように思う。目の前にいる人を理解しようとする、分かろうとする、そのことが、その人の人格を尊重することであり、その人の尊厳を認めることだというお話だった。また、分かることと、知ることは違うことだということ、分かったということは、変わるということ、分かった瞬間にその人は変わるのだということだった。

また、信頼する、ということについてもお話された。国語の辞書には、「信じて頼りにする」と書いてあるが、「まったく違う」と先生はおっしゃる。「信頼する」とは、「信じて、自分の一部或いは全てを相手にゆだねまかせることだ。」と話され、クライアントがカウンセラーを信頼することとともに、カウンセラーがクライアントを信頼することを考える。それは、カウンセラーがクライアントに対して、「私は、あなたのことを（気持ちを）……と、このように理解しましたがそれでよろしいでしょうか。」と、その判断をクライアントに委ねるということであり、たとえ、他の多数の人がOKと認めてもその当のクライアントがOKと言わなければカウンセラーはその人を理解したことにはならないのだとお話しになった。今の自分も肝に銘じなければならぬと痛感した次第である。

もう一つ、カウンセラーとして大切なこと、「誠実であること」についてお話になられた。1人の人間として、真摯にクライアントに向き合うことを最も大切にしておられると感じた。「誠実であること」を一度ならず二度の場面でお話になられたからである。一度は、不登校の女子生徒に向けた言葉が自身の本当の気持ちから出たものではないことを当の女子生徒に見破られた話。二度目は講演の最後を締めくくる場面でのお話の中での言葉であった。ロジャーズ流に言えば、「自己一致」ということでもあろうが。常に、今日の面接で私は誠実であったか、と問い続けていらっしゃるとのこと。翻って、自分の、面接でクライアントに向き合う姿勢を考えて見ると、なんと「甘かったか」と慚愧の思いに駆られてしまった次第である。いずれにしても実に実り多き研修であったと、橋本先生に感謝、感謝。

(文責：佐藤幹雄)

○ 日本学校教育相談学会第32回中央研修会レポート

日本学校教育相談学会中央研修会が、令和4年1月9日、オンラインで開催されました。コロナ禍で、オンラインになって2回目です。午前、午後それぞれ3講座ずつ、計6講座が企画され、最大2講座に参加が可能でした。

私は、午前中は、Cコース：久里浜医療センター松崎尊信先生の「ネット・ゲーム依存とは」（参加者約70名）、午後は、Fコース：聖学院大学大橋良枝先生の「愛着発達上の課題を抱えた子どもたちへの支援」（参加者約90名）に参加しました。運営担当も、講師も、参加者も、Zoomを活用した研修に慣れ、グループセッションも交えながら、十分価値のある研修会となっていました。（ネット・ゲーム依存に関しては、WHOでも認定されたゲーム障害を中心に、実情、リスク因子、治療法など、最前線からの最新の知見が紹介されました。愛着発達上の課題を抱えた子どもたちに関しては、その捉え方、要因とメカニズム、それにもとづく支援のあり方などが、事例も通して紹介されました。）

この中央研修会は、学会本部の中でも研修委員会が担当しています。今夏、学会の栃木大会があり、そこには夏季ワークショップがセットになりますが、そのワークショップも研修委員会によるものです。どちらも30回、20回を超える実績がありますが、毎回、テーマや講師、その他の企画も大変素晴らしいもので、感心しています。会員のニーズに合うように、学校教育相談のベーシックなもの、トレンド、新たな課題、トピックなどを取り混ぜ、開催方法も含めて、企画が工夫されています。地方の研修会とは一線を画すエキスパートな講師の招聘といい、ニーズの高いテーマ・課題について、最新の知見を会員に早く届けることといい、委員会メンバーの熱意を感じます。

中央研修会は、従来代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されてきました。コロナ禍の今、オンライン開催であれば、遠方から航空機や新幹線で週末の宿泊費もかけて行かなくても済みます。受講料も、半日1講座のみの選択で、2,000円と割安になっています。オンラインとは言え、クオリティーの高い研修会でこのコストは、お得です。今後、コロナのリスクが下がり、対面での研修が可能になっても、この利点が残され、オンライン参加との両立によるハイブリッド開催となる可能性もあります。会員にとっては、生で触れて聴くか、オンラインで気軽に割安で視聴するか、選択肢が増えるかもしれません。

ともあれ、栃木大会に伴うワークショップは、完全オンラインが決まっています。学会ホームページ、栃木大会2次案内等で、内容・講師陣も発表されています。研修委員会の方達の熱意にも思いをはせ、教育者あるいはカウンセラーとしての成長のために、自身に合った中央研修・夏季ワークショップの活用を図っていくとよいでしょう。

(文責：松本直美)

○ 栃木県支部事務局からのお知らせ

☆ 「第34回栃木大会」について

今大会はオンラインとオンデマンド方式を組み合わせ、夏季ワークショップも含めて2日間のコンパクトな日程で計画しておりますが、より充実した内容となるよう、現在も、実行委員会が準備を進めてきているところです。地元開催の大会でもありますので、会員の皆様には是非参加をご検討くださいますようお願いいたします。

<研究実践と自主シンポジウムの申し込み受付について>

- 締め切り日を延長して申し込みをお待ちしております。 **4月30日(土)まで**

<光琳寺住職 井上広法 氏 による記念講演 (Zoom ライブ配信) について>

- **演題は「息抜く力は、生き抜く力」に決定**しました。自ら命を落とす若者が増えつつある現状を憂うご住職ならではのお話がうかがえますので、ぜひご期待ください。

<大会参加申し込みについて>

- **大会申し込み開始は6月**になります。学会ホームページから申し込みください。

開催期日	事業名	会場	備考
6月4日(土) 総会 13:00 講演 13:30	【令和4年度総会 およびカウンセリング特別講座 I】 講演「不登校児童生徒のアウトリーチの実際」 講師 開善塾教育研究所所長 藤崎育子氏	栃木県教育会館 大ホール	参加費 無料
8月6日(土) ～ 8月7日(日)	【日本学校教育相談学会第34回総会・研究大会】 大会テーマ 『災禍に向き合い、支え合い、つないできた学校教育 相談を子供の心の砦としてさらに充実させよう』	栃木大会 Zoomによるオンライン (第二次案内参照)	
11月 13:30～16:00	【第40回支部研究発表】 (詳細未定)	未定	発表者・参加者募集
12月 13:30～16:00	【第13回 教育相談カフェ】 (詳細未定)	未定	
令和5年 2月4日(土) 13:30～16:00	【精神医学特別講座】 演題「ネット・デジタル社会と共存するために」 ～自分自身を大切にできる教育とは～ 講師 那須烏山市七合診療所 本間真二郎氏	栃木県教育会館 大ホール	参加費 無料
令和5年 2月25日(土) 10:30～16:00	【冬期特別研修】 演題「子ども達のゲーム・SNSの世界」 講師 橋本屋	栃木県教育会館 小ホール	先着40名 会員2000円 一般3000円

日本学校教育相談学会栃木県支部

〒320-0066 宇都宮市駒生1-1-6 教育会館栃木県連合教育会相談部内

日本学校教育相談学会栃木県支部事務局 高松千恵子・佐藤佳子

TEL 028-627-5682 FAX 028-627-5682

E-Mail : jasc.tochigi@gmail.com

ホームページ : <http://t-soudan.sakura.ne.jp/index.html>

発行責任者： 柴 一彌 (理事長)

広報担当者： 馬場友治・佐藤幹雄・松本直美・平峰孝二

伊澤 裕・小川正人